

〔連絡先〕

財政課財務調査グループ 江藤、宇津木

内線 2119、2106

直通 06-6944-9084

令和5年度 普通会計決算見込みの概要

令和6年7月
大 阪 府

令和5年度普通会計決算見込みのポイント

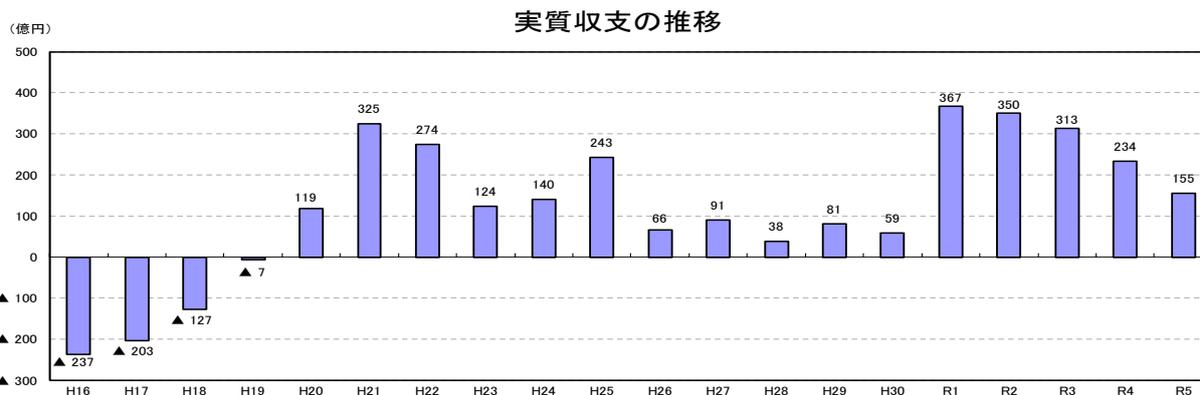
- 実質収支(注)は155億円となり、16年連続の黒字。決算規模は歳入・歳出とも縮小。
(一般会計の実質収支は133億円の黒字。)
- 歳入は、景気の緩やかな回復を背景とした法人二税の増などにより、府税収入は過去最高額となったが、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減に伴う国庫支出金の減などにより、全体としては5,842億円の減。
- 歳出は、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減などにより、全体としては5,698億円の減。

(注) 実質収支は、歳入総額から歳出総額及び翌年度へ繰越すべき財源を除いたもの。

1 決算収支

実質収支 155億円

	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度へ繰越すべき財源 (C)	実質収支 (A)-(B)-(C)
R5	3兆3,584億円	3兆3,256億円	173億円	155億円
R4	3兆9,426億円	3兆8,953億円	239億円	234億円
R3	4兆6,869億円	4兆6,348億円	208億円	313億円
R2	3兆7,894億円	3兆7,335億円	209億円	350億円
R1	2兆5,822億円	2兆5,263億円	192億円	367億円



【参考】令和5年度一般会計決算見込みの概要

- 歳入総額 3兆2,593億円 (対前年度比 ▲5,765億円、▲15.0%)
 - 歳出総額 3兆2,338億円 (同 ▲5,657億円、▲14.9%)
 - 実質収支 133億円 (同 ▲49億円)
- ⇒ 財政運営基本条例に基づき財政調整基金に編入する。

◆ 財政調整基金年度末残高

(単位：億円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年度末残高	1,612	1,602	1,479	1,475	1,489	1,562	1,706	2,037	2,171	2,262
積立額	112	19	27	11	14	73	144	331	134	91
うち編入	112	19	27	11	14	25	144	165	134	91
取崩額		30	150	15						

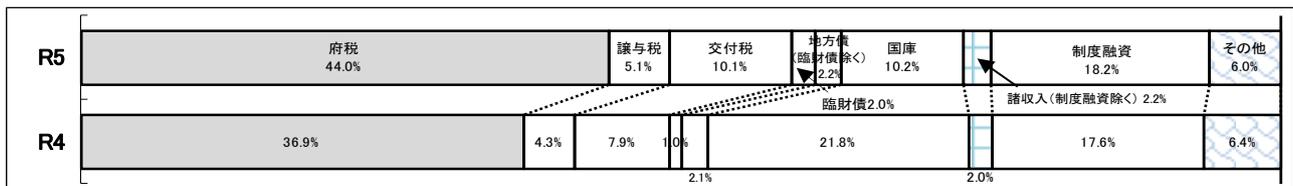
※H26については、地域活性化・公共投資臨時交付金分等を、R3以降については、後年度の普通交付税算定における是正対応のための一時的な積立分を除く。

2 歳 入

3兆3,584億円（対前年度比 ▲5,842億円、▲14.8%）

(1) 府税	1兆4,781億円	（対前年度比	+229億円、	+1.6%
・法人二税	5,088億円	（同	+142億円、	+2.9%
・個人府民税	3,269億円	（同	+157億円、	+5.0%
(2) 地方譲与税	1,706億円	（同	+6億円、	+0.3%
・特別法人事業譲与税	1,667億円	（同	+7億円、	+0.4%
(3) 地方交付税等	4,067億円	（同	+536億円、	+15.2%
・地方交付税	3,400億円	（同	+279億円、	+8.9%
・臨時財政対策債	667億円	（同	+258億円、	+63.0%
(4) その他（大きな増減のあったもの）				
・新型コロナウイルス感染症 緊急包括支援交付金	593億円	（同	▲2,694億円、	▲82.0%
・新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金	497億円	（同	▲1,617億円、	▲76.5%
・制度融資預託金返還金	6,111億円	（同	▲820億円、	▲11.8%

◆構成比



3 歳 出

3兆3,256億円（対前年度比 ▲5,698億円、▲14.6%）

(1) 人件費	6,582億円	（対前年度比	▲172億円、	▲2.5%
(2) 公債費	3,839億円	（同	▲155億円、	▲3.9%
(3) 投資的経費	1,885億円	（同	+29億円、	+1.5%
(4) 補助費等	1兆1,452億円	（同	▲3,464億円、	▲23.2%
・新型コロナウイルス感染症 対策事業費	402億円	（同	▲2,318億円、	▲85.2%
・営業時間短縮協力金	1億円	（同	▲1,153億円、	▲99.9%
(5) その他（大きな増減のあったもの）				
・制度融資預託金	6,111億円	（同	▲820億円、	▲11.8%

◆構成比

